

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：福井理文

- 朝、目が覚めると、目の前にはやたらと近い天井があった。しかもベッドが窮屈だ。何だここ！と思い冷静になってみると、ギリシャに旅行に来ていたのを思い出す。そうか、ここはバックパッカー用の格安ホテルだ…。現在の状況を再認識すると、一つの変化に気づく。お腹の調子が、良い。こ、これはチャンス！ここまで満足に楽しめていなかった旅行を、このギリシャの地で挽回するのだ！そう考えた僕はすぐにシャワーを浴び服も着替え、アクロポリスに向かう。その通り道、一つのお店に出会う。外装や看板を見る限りヨーグルトを中心にデザートを扱うお店のようだ。丁度いい、暑くなってきたし飲みながら歩こう…。そう思い、オレンジフレーバーのヨーグルトスムージーを購入。目の前でオレンジが刻まれ、氷、ヨーグルトと混ぜられる。一口吸った瞬間、乾いたのどが、豊かなオレンジの香りとともに酸味のあるヨーグルトに包まれる。歯に残るシャキシャキと爽やかな音も心地いい…。思わず小声で、うっま！と呟いたのだった…。

と、言う流れで始まった5月。イースターブレイクの旅行から帰り、アジアセンター主催のイベント「春うらら」やポーランド旅行、更には二度目のテストなど色々ありました！少しずつ振り返っていきましょうと思います。

- 「春うらら」
僕は前段階のワークショップ（折り紙や書道、着物体験など）を手伝っただけですが、当日の「春うらら」イベントは素晴らしかったです。野球と相撲を寸劇でやったり、太鼓演奏であったり、ヨーロッパを拠点に活動している三味線演奏者を招いたり…。日本の文化をこんな風に必死にいろんな方法で表現している人が海外にいることに少し感動しました。

- マラソン観戦



日本人の学生や社会人のマラソン同好会があり、それでルームメイトがマラソンに参加するので応援に。ブカレスト大学の人たちはどんなふうにブカレストの社会人の方と繋がりを持っているのか謎だったけど、こういう所に参加したり何度か顔を出すことで繋がっているんだなあと知れた。単純にマラソン観戦も楽しかった！



- ルーマニア来てから初めての映画。やっぱり映画の英語はまだ早く感じます。ここで何より驚いたのは、映画の本編が終わると、エンドロール中なのに場内が明るくなり清掃の人が入ってくるのには驚いた。観客もすぐに帰るし。聞くところによると、他の国でも結構こんな感じみたい。エンドロールまで全部確認して映画やと思ってる身としては納得いかないものがありましたね。

- 高校訪問



アジアセンターの学生の高校に訪問。誘われたから行ってみたいといったら、特になんのアポも無しで入り、先生も入ってきた僕たちに構わず授業続ける。あとで地図のゲームをさせられたけど、部外者に対する意識それで安全なのかと思った。